

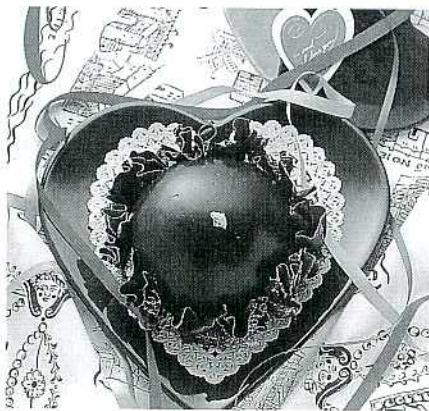
のうきよう まがしづ



'98 **2** No. 278

のうきよう ちびっ

熱い思いは、そつと重ねて
チョコレートの中へ。
2月14日はバレンタイン。



もくじ

- 3 ——— 第20回中標津町表彰式
- 4 ——— 〈わが家の人気者〉
兄弟想いのやさしい子
西武佐 高橋宏平くん(5歳)
- 5 ——— 女性部新年恒例会
- 6 ——— 〈営農技術〉
簡単な改造でストレス解消
- 7 ——— 〈組合長日誌〉
酪農の安定性、将来性を求めて
- 8 ——— JA根室地区青年部幹部研修
- 10~11 — 平成10年営農計画総集計表
- 12 ——— 勤続20年を迎えて
- 13 ——— 新たな基本法
- 14~15 — 農協の財務状況
- 16 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
生活の見える家計管理を
- 17 ——— 〈理事会の経過〉
第10回、11回理事会
- 18~19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ——— 1月の組合日誌

第20回 中標津町表彰式

63個人
3団体を
表彰



中標津町の発展に功績をたたえる

第20回中標津町表彰式

第二十回中標津町表彰式が一月十六日、中標津町総合文化会館で開催され、自治貢献賞、社会貢献賞、産業貢献賞など各分野で永きにわたり町の発展に顕著な功績のあった人達、六十三個人、三団体が表彰されました。

中標津町農協からは、自治貢献賞に渡邊善行氏、大木敏夫氏、田代昭氏、福岡信一氏、齊藤哲雄氏、森島倉雄氏、社会貢献賞に中司哲彌氏、石橋喜作氏、松田昌介氏が表彰されました。

式には新出實町長が祝辞を述べた後、受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡しました。受賞者のうち中標津町農協関係者は次の通りです。

△自治貢献賞

○渡邊善行氏

永年にわたり統計調査員として国勢調査、農林業センサスなど町行政の長期的な計画の基礎資料の

収集に貢献をしています。

○大木敏夫氏

永年にわたり統計調査員として国勢調査、農林業センサスなど町行政の長期的な計画の基礎資料の収集に貢献をしています。

○田代昭氏

永年にわたり統計調査員として国勢調査、農林業センサスなど町行政の長期的な計画の基礎資料の収集に貢献をしています。

○福岡信一氏

永年にわたり統計調査員として国勢調査、農林業センサスなど町行政の長期的な計画の基礎資料の収集に貢献をしています。

○齊藤哲雄氏

昭和五十二年から現在まで二十一年間の永きにわたり、北開陽納税貯蓄組合長として、納期内納税の普及拡大を図るなど組合員の育成指導に努め、本町の税務行政に多大な貢献をしています。

○森島倉雄氏

昭和五十二年から現在まで二十

一年間の永きにわたり、東俵橋納税貯蓄組合長として、納期内納税の普及拡大を図るなど組合員の育成指導に努め、本町の税務行政に多大な貢献をしています。

△社会貢献賞

○中司哲彌氏

昭和六十年四月から現在まで十二年間の永きにわたり、防犯推進委員として、本町の防犯思想の普及高揚に努め、青少年の非行防止に活躍するなど防犯運動の推進に多大な貢献をしています。

○石橋喜作氏

昭和六十年四月から現在まで十二年間の永きにわたり、防犯推進委員として、本町の防犯思想の普及高揚に努め、青少年の非行防止に活躍するなど防犯運動の推進に多大な貢献をしています。

○松田昌介氏

昭和六十年四月から現在まで十二年間の永きにわたり、防犯推進委員として、本町の防犯思想の普及高揚に努め、青少年の非行防止に活躍するなど防犯運動の推進に多大な貢献をしています。

わが家の人気男

兄弟想いのやさしい子



西武佐 高橋正一・百合さんご夫妻
二男 宏平くん(5歳)

高橋正一さん宅の三人兄弟の末っ子、宏平くんは、ただいま五歳の元気っ子。

ちよっぴりはずかしがり屋で、お母さんの百合さんに言わせると「けっこのんき」なのだそう。仲良しで大好きなお兄ちゃん、お姉ちゃんが学校から帰ってくる

までは、ちよっぴりさみしそう。兄弟の中では、一番「兄弟想い」というやさしい宏平くん。買いのなんかにいくと、必ず、お姉ち

やん、お兄ちゃんのおみやげをちやんと買う事を忘れないそうです。最近、逆だちやそく転なんかもできるようになって、家の中をにぎわせています。

この日も、ちよっぴりはずかしがりながらも、ご披露してくれました。

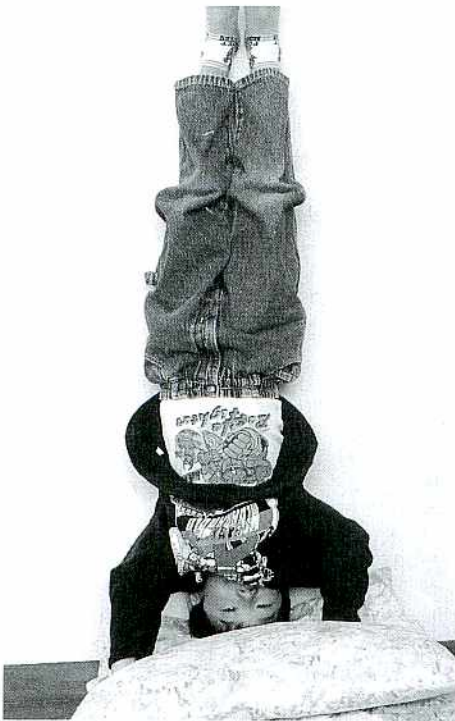
おうちの仕事はというと、まだまだお手伝いまではいかないようです。今は、遊ぶのがお仕事。お兄ちゃんの力也くんと、牛舎の中を走り回ったり、外で雪山をつくったり、元気いっぱい飛び回っているようです。

保育所に行くのが大好きで、朝

も早く行きたいと言う事もあるそうですが、そんな宏平くんも来年は、小学校一年生。

子どもの成長の早さを感じ、うれしいような、さみしいようなお母さんですが、「元気で思いやりのある子に育ってほしい」と話し、将来は自分の思い通りにやってほしいと話すお父さんと一緒に、宏平くんの成長をやさしく見守っています。

そんな家族に囲まれて、毎日元気いっばいのびのび育っている宏平くん。来年は立派な一年生になってね。



家の中でも元気いっばいなのです

女性部新年恒例会



さあ、今年も1年ガンパロー

食べて、飲んで、 つくりました。

全員でアクリル毛糸のタワシを作成



ビンゴゲームで盛り上がりました

事になり、その他にもゲーム大会、作品展示など内容も盛りだくさんとなりました。

当日は天気にも恵まれ、五十一

一月二十七日(火)、農協大会議室において、女性部新年恒例会が開催されました。今年も、部員間の意見交換や交流の場をつくる事を目的とした新年会が計画され、前日より役員、支部長が集まり準備が進められました。

今回、参加者全員でとりくめるものをやりたいという声から、「環境にやさしいアクリル毛糸のタワシ」を作る

人の部員参加のもと午前十一時、横田部長の挨拶で開会。

普及センター菅原次長、農協営農部渡部部長より祝辞をいただき会食へと移りました。

オードブルや、手作りゼリーに、つけものなどで盛りだくさんのテーブルを開き、和気あいあいと会



話も弾んでいたようです。

その後、全員で、毛糸と針もつての編み物タイムで、アクリル毛糸のタワシを作成。ひとりではなかなか取り組むきっかけがつかめないと言う人も、今回が良い機会となった事でしょう。

また、その後もビンゴゲーム大会へと続き、終始笑い声の絶えない楽しい時間を過ごす事ができました。



アクリル毛糸のタワシを作成中です

簡単な改造で ストレス解消

管内の泌乳牛の飼養施設の約九割は、スタンション牛舎です。

しかし、育成牛・乾乳牛では、無繫留（フリーストール・ルーズバーン）飼養が増えてきています。

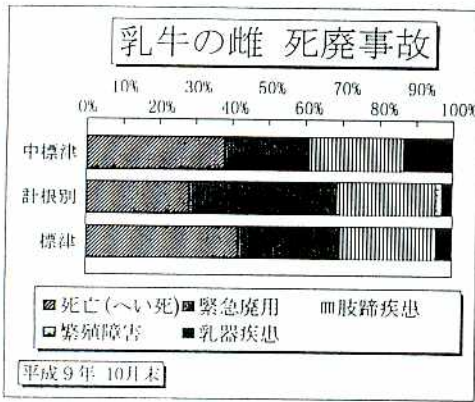
この、無繫留からスタンション飼養の変化が、乳牛に大きな負担となつていきます。

初産牛が、初めてスタンションに繋がれることによつて、寝起きが不自由になり、肢蹄疾患やストレス疾患により廃用になる事例も少なくありません。

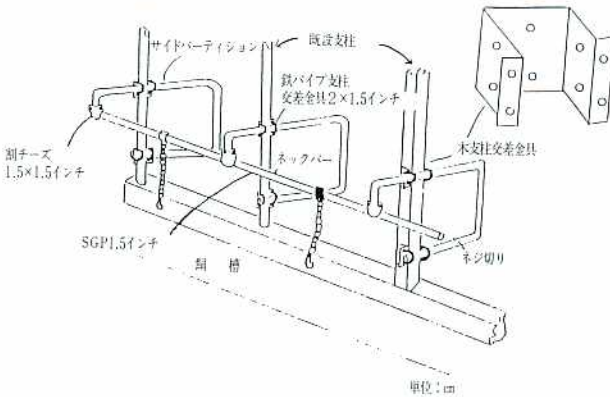
この状態を改善するひとつの方法として、分娩後少なくとも一カ月はタイストールで飼養すると、トラブルは少なくなります。

現在のスタンションの一角を取り払い、ニューヨーク・タイストールに改造して、分娩牛の飼養ベースにします。

この方法は、極めて低コストで簡単にでき、改善効果も高いものです。

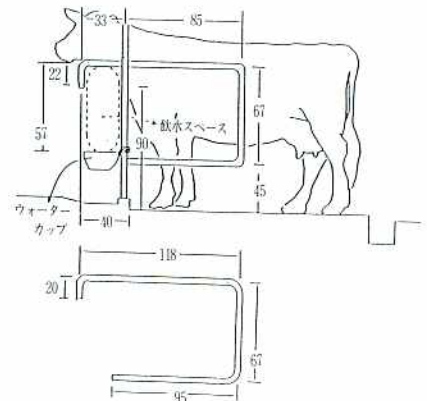


ニューヨークタイストール+仕切柵の概要



では、実際の改造にあたっては、スタンションを取り外し、既存の支柱を利用し、仕切り柵を取り付け、前方に鉄パイプ（一・五インチ四角）をつなぎ、繫留チェーンセット（チェーン留金具、ナスカセン付チェーン）を取り付けるだけです。

取り付け位置、寸法は次の図を参考にしてください。



今後の施設整備の際には、次の事を参考にして下さい。

- ア、施設は、乳牛生理と作業性、さらに育成・乾乳・分娩・泌乳を一つのシステムとして検討する。
- イ、乾乳から分娩までは、飼養システム、環境の変化をなるべく少なくする。
- ウ、分娩前二カ月間は、自由に運動できる環境が望ましい。
- エ、育成期間中に繫留の馴致が来ないのであれば
- ① 分娩後に繫留する。
- ② 分娩後、少なくとも一カ月間は、タイストールで飼養。

酪農の安定性、将来性を求めて

暖冬による東京の大雪、厳冬の
中標津と様々な天気模様の一月で
した。わずかに十℃程度の雪で首都

圏が大混乱に陥り、除雪体制が不
備だとか、危機管理が出来ていな
いとか、人心も含めて混乱の状態
でした。一月の十四日に農水省と

道酪対の意見交換会があり、酪農
の現状を伝える発言の冒頭で、「わ
ずか十℃位の雪で日常生活が混乱
することを思えば、大雪と零下二

十度を越す地域で牛乳生産をする
酪農家の努力と大変さを改めて認
識してほしい。日本の食糧の大半

が雪国によって生産されているこ
とを考えれば、農家はたいしたも
んだと胸を張ってもいいのではな
いか」と発言しました。改めて、

都会の人々には地方、農業、農民
の重要さを認識してほしいもので
す。

成人の日の十五日の大雪にまき
こまれてしまい、ようやく脱出で
きました。都会の不便さに比べれ
ば中標津の便利性、快適性は格別

です。恵まれた環境で、恵まれた
農業生活を実現しましょう。

今年も乳価の時期を迎えました。
酪対活動は通年運動であり、その
一環として酪対と畜産局との意見
交換の場を定期的に持っています。

●今月のたより……

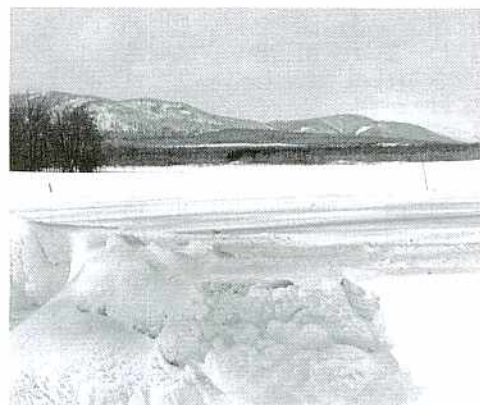
組合長日誌

代表理事組合長
三友 盛行



今回は酪対会長の代理として上京
しました。

畜産局の基本的な方向としては、
国際化に対応しながらも、現行乳
価水準を維持してゆく方向を執っ



ています。特に不足払い制度は、
黄色の政策とされているので、透
明性と整合性のある算定、運用を
第一として、その他用途向けを
奨励して乳価水準を保とうとして
います。その流れが昨年の総合乳
価になりました。また、ガット合
意は自由化の受け入れであり、現
在は高い関税率によって、輸入乳
製品が入ってこれない状況です。

少なくとも二〇〇一年まではカ
レント分以上の輸入は無い状況で、
乳価は総合的に見れば現行水準を
保ってゆけると予想されるので、
先行き不透明ではなく、この期間

中

に経営の確立をしてほしいと畜
産局より要望がありました。そし
て、次期WTOは二〇〇〇年頃か
ら協議に入りますが、過去の例か
ら見ると数年はかかるので、すぐ
にでも完全自由化体制になりませ
ん。また、乳製品、原料乳需要は
国内生産を大きく上回っています。
以上の事から、酪農の生産環境は
総じて現行水準の維持が期待され
ますので、むしろ、酪農は安定性、
将来性があるといつて良いと思わ
れます。

また時代背景の中で、環境問題
がクローズアップされています。

畜産環境の中でも、フン、尿対
策は、補助、リース、融資事業な
どがありますので、独力で出来な
い分をこの期間中に整備すること
も大切だと思われま

す。
EU、米国を研修、視察をし
ましたが、どの国でも農業、乳価、
環境とも重要な政策の柱であり、
支持、育成をしていました。外国
を見ることは実は日本を見ること
でした。日本に相応しい、農業政
策を求めて今後も運動してゆきた
いと思っています。

環境問題をふくめ 活発な意見交換会



JA根室地区青年部幹部研修 青年部部长 山田 昇

一月二十二日～二十四の二泊三日の予定で、根室地区青年部幹部研修会が東京で行なわれました。

出席者は全員で十三人で、JA中標津からは私が出席し、まず一日はホクレンの東京支店を訪問し、根室管内の飲用向けブランド、

「根室3・7牛乳」

が販売されているファミリーマートというコンビニを見ました。

二日目は、横浜乳業を見学し、午後から農水省事務担当者との意見交換会が行なわれました。お互いに活発な意見がかわされ、特に環境問題などの意見が出され、いろいろな資金を出しているのを活用してほしいと言われました。

これからは環境問題はさけて通れない問題としました。

米年以降は、もっと若い部員に参加してもらい、いろいろな経験をしてもらいたいと思います。



'98春の特選新車フェア

この春、クルマ購入のプランのある方は、お気軽にJAの自動車担当窓口へ。

お申し込み受付期間

3月31日まで

期間中、全道のJAで特選6車種全グレードを、
有利な条件でお求めいただけます。



トヨタカリーナセダン2WD

1500Lセレクション
5速マニュアル車
標準価格1,646,000円

1,395,000円



三菱パジェロミニ4WD

VR-2 5速マニュアル車
標準価格1,445,000円

1,373,000円



日産マーチコレット1000

OD付4速オートマチック
標準価格1,072,000円

952,000円



三菱ミニカ3ドア

グッピー2WD
5速マニュアル
標準価格811,000円

712,000円



三菱レグナム2WD

1800ST
4速オートマチック
標準価格2,058,000円

1,876,000円



トヨタスターレット3ドア

1300ルフレイリミテッド
2WD4速マニュアル車
標準価格905,000円

832,000円

JAならではのメリット!

低金利のマイカーローン、しかもあなたに合ったお支払い、
自賠責共済、自動車共済のセット加入で、
自動車共済の対人掛金がさらに割引されます。

JA中標津営農資材課・根室機械センター

計画総集計表

単位：千円

	収		入	
	9年計画	9年実績	10年計画	過不足
生乳	6,488,888	6,305,021	6,637,280	332,259
補給金	563,820	601,817	548,365	-53,452
小計	7,052,708	6,906,838	7,185,645	278,807
乳用牛	643,482	615,715	596,372	-19,343
肉用牛	288,161	288,830	286,503	-2,327
その他畜産物	5,280	6,028	8,195	2,167
固体販売計	936,923	910,573	891,070	-19,503
家畜共済金	134,030	247,831	132,537	-115,294
畜産物計	8,123,661	8,065,242	8,209,252	144,010
馬鈴薯	472,088	574,687	469,808	-104,879
てん菜	142,643	164,632	135,700	-28,932
その他農産物	15,943	22,880	25,597	2,717
農産収入計	630,674	762,199	631,105	-131,094
農業雑収入	204,218	369,538	225,654	-143,884
農業収入計	8,958,553	9,196,979	9,066,011	-130,968
農外収入	52,280	127,893	60,230	-67,663
資金借入	27,447	33,936	3,711	-30,225
資金受入	257,994	498,450	309,609	-188,841
その他				0
合計	9,296,274	9,857,258	9,439,561	-417,697

	9年実績	10年計画
乳量(t)	91,959.70	97,102.92
てん菜(ha)	199.13	191.2
収量(t)	8,764.86	7,889.50
馬鈴薯種子(ha)	86.22	83.4
食用(ha)	51.40	49.2
澱原(ha)	604.74	594.8
収量(t)	409,897.70	328,231.00
加工(ha)	29.5	11
乳用牛(頭)	3,076	3,533
肉用牛(頭)	5,295	6,816

	9年計画	10年計画
乳牛総頭数	24,463	24,449
12ヶ月以下	4,367	4,425
13～24ヶ月	5,615	5,339
25ヶ月以上	14,481	14,685
総所有地	15,988.94	15,932.44
改良草地	8,978.53	8,797.33
永年草地	3,455.57	3,654.77
畑地	1,109.70	1,024.10
山林原野他	2,445.14	2,456.24

平成10年営農

	支		出	
	9年計画	9年実績	10年計画	過不足
賃	99,637	85,352	115,465	30,113
肥料	543,876	536,117	558,246	22,129
生産資材	358,497	349,013	351,323	2,310
水道光熱	333,503	320,419	331,170	10,751
飼料	2,037,059	2,217,869	2,164,957	-52,912
養畜費	339,205	373,410	358,416	-14,994
素畜費	54,040	25,757	22,235	-3,522
農業共済	354,952	356,357	356,256	-101
賃料料金	529,682	572,255	538,671	-33,584
修理費	298,143	383,565	303,153	-80,412
諸税諸負担	394,766	435,735	419,015	-16,720
支払利息	271,865	247,162	261,631	14,469
その他経営費	132,421	143,142	136,122	-7,020
農業支出計	5,747,646	6,046,153	5,916,660	-129,493
家計費	1,704,362	1,843,071	1,695,296	-147,775
経費+家計費	7,452,008	7,889,224	7,611,956	-277,268
資金返済	825,653	871,513	828,757	-42,756
貯金共済	975,067	995,778	963,912	-31,866
農業機械	84,402	147,025	57,649	-89,376
その他	93,037	242,713	60,001	-182,712
合計	9,430,167	10,146,253	9,522,275	-623,978

	9年計画	9年実績	10年計画
総収入合計	9,296,274	9,857,258	9,439,561
総支出	9,430,167	10,146,253	9,522,275
収支過不足	-133,893	-288,995	-82,714

	9年計画	9年実績	10年計画
農業収入	8,958,553	9,196,979	9,066,011
農業経営費	5,747,646	6,046,153	5,916,660
農業所得	3,210,907	3,150,826	3,149,351
所得率(%)	35.8	34.3	34.7

勤続二十一年を迎えて



課 資材 購買部 富田 恵一

昭和五十二年の四月に奉職以来、組合員、先輩各位に支えられ、二十年が経過いたしました。

この間、畜産課を振り出しに、各部署を経験させて頂きましたが、右も左もわからない入組当時、先輩から、「組合員の顔と農場がわからない」と仕事をやらせられ、土曜日、日曜日にも地図を片手に山歩きをした時のことが鮮明に思い出されます。

また、二十年の間に過去経験のない生乳の計画生産や、政府支持価格の下落など、時代の変遷の中で、幾多の組合員の挫折を目の当たりにし、現実の厳しさを痛感したところですが、二十一世紀を日

前にした現在、国で検討している新農業基本法の制定に期待しつつも、寄せてくる国際化の大海は避けられない状況の中、常に「組合員と共に」「前へ」の初心を忘れることなく、職責を全うし、たく思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



課 相談 経営 和田 勝美

この度、農協に奉職し二十年の勤続表彰をいただきました。畜産販売課からスタートし経営相談課、金融共済課、なかしべつフーズ、そして農産販売課、現在経営相談課と組合員皆様と接する部署を経験させて頂いております。これも偏に組合員皆様の温かい御指導、

御協力のおかげと深く感謝致しております。今、経営相談課にて組合員個々の営農相談をさせて頂いておりますが、十数年前と比較しても乳価の低下などにより、組合員皆様の経営は非常に厳しい状況となっておりますが、経営安定化に向けて今後も頑張っておりますので、宜しくお願い致します。



課 電算 管理 西村 聖一

不肖私が奉職した昭和五十二年は石油ショックの後遺症による景気低迷の環境下であり、畜産物価格は完全な据え置きのみでコスト上昇分を吸収できないままに推移し、貿易収支の黒字べらしのため農畜産物の輸入の拡大への圧力が強まる経済情勢にあり「大変な時代になった」と言われた混沌の年の始まりでもありました。

来、この二十年間は組織にとっても農業にとっても試練の多い歳月でありましたが、幾多の困難を克服して今日を築き上げられたのは、相互扶助の精神と、固い団結に培われた、即ち協同の力であると確信するものです。そして昨年は戦後五十年間続いた政治、経済システムがいよいよ息切れを起し、地球規模の食糧・農業・環境問題などにより日本農業が岐路に立たされ、これからのかたにして再構築していくべきかが問われる年でもありました。

農協も本年四月をもって、創立五十周年を迎えます。新しい農業の時代でもある二十一世紀の前に、このような「厳しい」時代であればこそ、我々職員の真価を全力投球で発揮しなければなりません。勤続二十年を迎え、ここに心を新たに、今後も一層精励、努力を尽くす所存でございますので、よろしくご指導、ご教示くださいますようお願い申し上げます。

「厳しい」が慣用語になって以

食料・農業・農村地域に関する

新たな基本法

地域の声をつくってほしい 明日の農業・農村を築く新法

みんなで
語ろう



食料自給率は
どうしたら、いいだろう

ふるさとの景観を守って
いる農業への補償導入は

農地を維持・活用
するためには

食料は世界全体
の問題だね!

新たな基本法のあり方について検討している「食料・農業・農村基本問題調査会」は昨年十二月、中間取りまとめを発表しました。このなかでは、農業・農村が果たしている環境や国土保全などの多面的機能も評価されるなど、現行の農業基本法にはなかった新たな視点も含まれています。

しかし、①食料の安定供給を確保するうえで国内農業を基本とすべきかどうか②食料自給率を政策目標とすべきかどうか③株式会社農地の権利取得を認めるべきかどうか④中山間地域の農家への直接所得補償政策を導入すべきかどうか——の四項目については意見が分かれ、今年の夏までに最終答申を出すことになりました。これらに対するJAGグループ

プの考え方を紹介します。

国内生産を基本とした食料政策について

地球全体で八億四千万もの人が食料不足に苦しんでいる状況にある一方で、世界人口は毎年一億人ずつ増え続けていきます。農地や水など食料生産の資源拡大は限界に達しており、二十一世紀には食料需給のひっ迫が心配されています。

食料の問題は自国だけでなく、国際的な食料安全保障の視点から、現在ある貴重な生産資源を有効かつ適切に活用しながら国内生産を基本とした食料政策を確立していくことが必要と考えています。

みんなにわかりやすい食料自給率の目標設定について

食料自給率は国民が消費している食料のうち、どの程度を国内生産でまかなっているかを示す、わかりやすい指標です。

しかし、自給率は低下傾向にあり、世論調査でも「心配」とする意見が圧倒的です。食料自給率で一定の目標を立てることは、食料の安定供給に関して国民に安心感を与える指標としても効果があると考えます。

株式会社の農地の権利取得について

規制緩和を主張している経済界は、こと農地については逆に規制強化を主張しています。しかし、いくら株式の譲渡制限や農地転用制限の強化を行っても、さまざまな方法で法の目をくぐる恐れは十分あります。バブル時のような農地の投機的な取得や乱開発を完全に防ぐことは難しく、こうしたことから株式会社農地の権利取得には反対です。

直接所得補償措置の導入について

中山間地域は国内農業生産の四割を占める重要な地域であるとともに、農業生産活動を通して国土と環境を守っています。しかし、こうした地域の農業経営は生産と生活両面において条件的に不利な状況にあり、活力が低下しつつあります。こうしたことから、環境保全などの公益活動に対する直接的な所得補償措置の導入が必要です。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
今後、JAGグループでは、一千万人を超える新たな基本法制定を求める国民の署名結果に心えるためにも、各都道府県で論議が深まるように運動を展開していきます。

農協の 財務状況

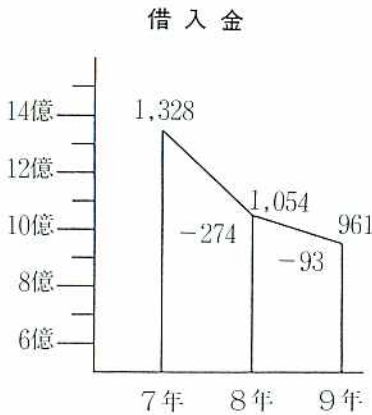
平成九年度十二月末における、財務の状況についてお知らせいたします。

貸付金

前年同期より貸付金全体では、一億二千四百万円の増加となっております。

クミカン

預かり残高については、前年同



期より四千三百万円増加し、貸越

残高は、二億三千百万円の減少となり、収入全体では、乳代（補給金含む）が一億二千七百万円、個体販売で六千万円、農産収入で一億四千百万円、農外収入で七千二百百万円、資金借入で二億三千七百万円増加し、農業雑収入八千万円、資金借入一億三千百万円が減

少してはいますが、収入合計では四億二千五百万円の増加となっております。

支出については、飼料代が値上がりにより一億四百万円、租税諸負担五千三百万円などが増加となり、支出合計で一億四千九百万円の増加となっております。

貯金

十一月十日より十二月三十日まで昨年引き続き実施したWチャンネルキャンペーン（実績二億九千万円）の効果もあり、前年同期三億二百万円の増加となりました。

自己資本

なかしべつフーズ(株)の清算があり、特別積立金、法定準備金など

がそれぞれ減少しており、前年同期より三億八千万円の減少となりました。

販売事業

販売品取扱高については、乳代（補給金含む）で一億四千六百万円、畜産物で二千六百万円増加し、共計でん粉が一億二千万円減少したものの、全体では前年同期を六千八百万円上回る結果となりました。

購買事業

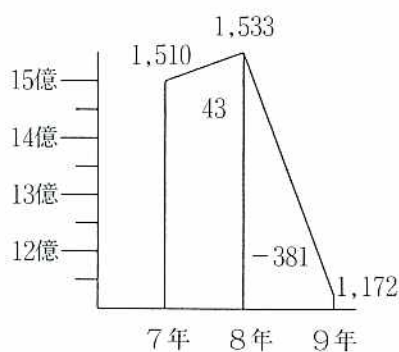
購買品取扱高については、生産資材が一億三千四百万円減少し、生活店舗で二千九百万円増加しましたが、全体では、一億五百万円の減少となりました。皆様のご協力に対してお礼申し上げます。

購買品供給高

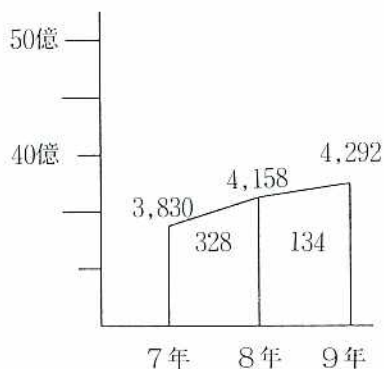


平成9年度12月末事業概況(単位:百万円)

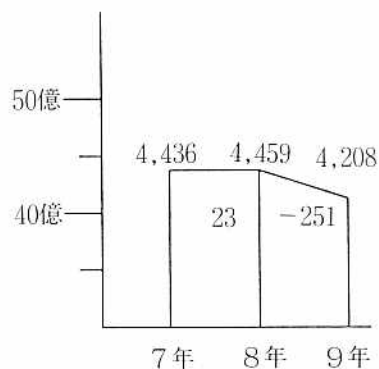
自己資本



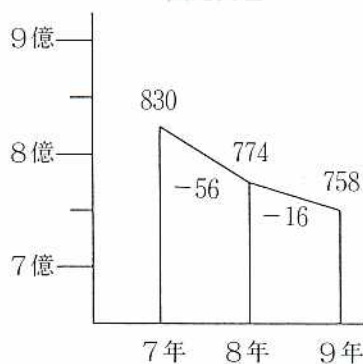
貸付金(組勘貸残含む)



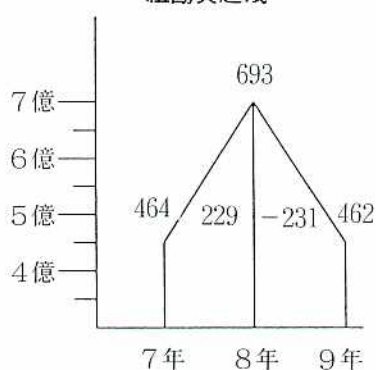
受託資金



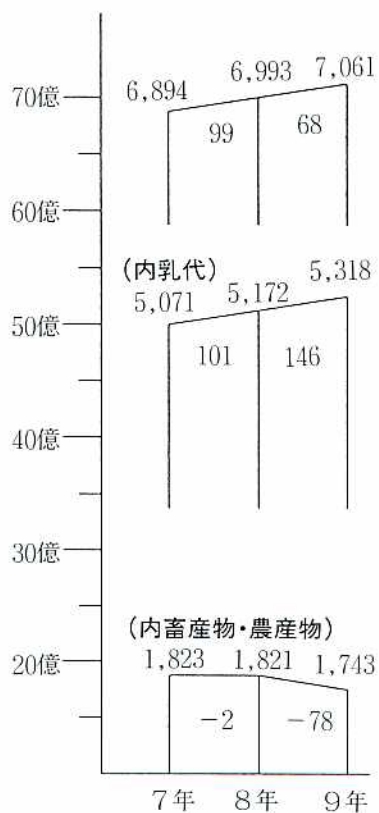
固定資産



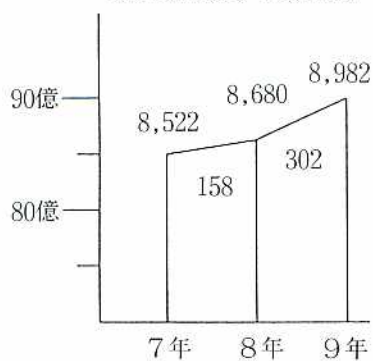
組勘貸越残



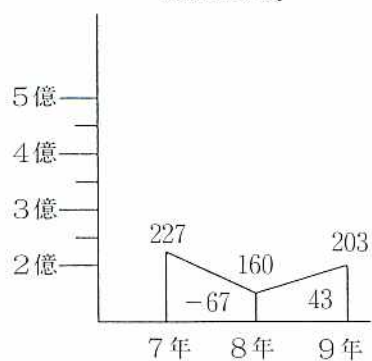
販売品取扱高(補給金含む)



貯金(組勘預り残含む)



組勘預り残



(内乳代)

5,071 (7th), 5,172 (8th), 5,318 (9th)

101 (7-8), 146 (8-9)

(内畜産物・農産物)

1,823 (7th), 1,821 (8th), 1,743 (9th)

-2 (7-8), -78 (8-9)

暮らしの

知恵森



生活の見える 家計管理を

北根室地区農業改良普及センター

近年、急激な高齢化社会への移行が国民経済的なレベルで問題になってきています。さらに不安定な経済状況のためでしょうか貯蓄、生活設計、老後の家計についての意識は徐々に変わってきています。貯蓄広報中央委員会の調査によりますと、貯蓄の目的については病気や災害の備え、老後の生活資金のためという回答が増えてきており、計画的な生活設計への意欲が全般的に上がってきています。

こうした状況のなかで、家計運営、財産管理は益々重要になってくると思います。毎日の出納を確認する家計簿記帳はもろろんのこと、財産を把握し、五年、十年にける有効な家計運営を行なうことが望ましいでしょう。一つの例として表一のような人まかな資産と負債のバランスを書き出し、確認した段階で、将来の収入と支出の計画(表二)をたてることができま

もちろん生活設計表を見直す過程では、「五年先に予定した改築を前倒しにして三年後にできるだろう」、「海外旅行は一回あたり家族皆で二十万円くらい減らさざるを得ない」あるいは「住宅購入のための積立は、年額で六万円増やさないと無理だ」というように漠然と思いついていた計画の変更は

ごく自然なことです。この生活設計表を作成することは一つの目的です。しかし、これを作成する過程で、夫婦、テーマによっては子供、あるいは同居している両親などと将来設計を巡って、いろいろな話し合いの場をきっかけにするというつもりで、取り組むとよいでしょう。

(表一) 暮らしの見える家計管理(元入)の例

項目	年度			
	1997	'98	'99	2000
収入	10	11	12	13
支出	33	34	35	36
貯蓄	30	31	32	33
負債	8	9	10	11
純資産	5	6	7	8

項目	計額	毎年の積立・借入金返済額			
		1	2	3	4
住宅ローン	960	600	300	6	6
教育	593	593	75	75	75
生活	379	379	15	15	15
その他	300	500			
合計	1322	1522			

項目	計額	毎年の収入・支出			
		1	2	3	4
収入	400	420	440	462	
支出	24	29	34	39	
合計	376	391	406	423	
収入	424	449	474	501	
支出	310	322	334	347	
合計	114	127	140	154	
収入	114	127	140	154	
支出	714	841	991	1135	

(表二) 家計管理の計画

項目	年度		
	1	2	3
収入	14	15	16
支出	43	44	45
貯蓄	40	41	42
負債	18	19	20
純資産	15	16	17

理事會

の経過

第十回理事会

開催日時 平成九年十二月二十六日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、役員定数審議委員の選任について
- 二、役員報酬審議委員の欠員に伴う選任について
- 三、ホクレン事業用地取得による売買契約の締結について
- 四、牧舎の今後の運営について
- 五、堆肥運搬車の利用料の改定と利用範囲の設定について
- 六、北海道酪農畜産協会入会について

〈協議事項〉

- 一、営農協議経過について
- 二、抗生物質汚染乳保険会社の選定について
- 三、畑地の地方向上対策に係わる道営草地改良事業の導入について

て

- 四、新店舗建設委員会経過報告及び新店舗の配置図と平面図の検討について
- 五、根室北部四JAの合併について

〈報告事項〉

- 一、平成九年度産ビートの精算について
- 二、平成九年度種子・生食・加工馬鈴しょの実績と精算について
- 三、平成九年度良質生乳安定供給推進奨励金の支出について
- 四、酪農体質強化対策費に関わる良質生乳生産奨励事業費の支払について
- 五、チーズ向原料乳奨励金の支払について
- 六、平成十年度酪農・畜産政策に関する要請事項について
- 七、生乳生産状況について
- 八、生乳生産者意向調査の実施について
- 九、馬鈴しょでん粉工場再編整備の経過について
- 十、中標津町表彰式の日程の報告について
- 十一、平成十年度新採用職員試験

の報告について

第十一回理事会

開催日時 平成十年一月三十日

開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、農協法第九十四条第四項の規定に基づく道条例検査の回答について
- 二、平成十年度営農計画供給認定について
- 三、各種資金の借入申込みについて
- 四、貸付金の最高限度額(員外者)の変更について
- 五、信用事業規程などの変更について
- 六、金融基盤強化積立金の目的変更について
- 七、退職給与規程(特別加給)の変更について
- 八、給与規程の変更について
- 九、債務保証委託申込みに伴う出資増口について
- 十、経営企画課車輛リースの更新について
- 十一、酪農課車輛リースの更新に

ついて

- 十二、畜産販売課車輛リースの更新について
- 十三、畜産販売課家畜集荷委託料の変更について
- 十四、生乳検査業務の委託について
- 十五、抗生物質汚染乳保険料の徴収について

〈協議事項〉

- 一、給油所経営分析結果と今後の対応について
- 二、各補助事業について

〈報告事項〉

- 一、肉牛生産センターの実績について
- 二、乳製品工場及び牧舎の実績について
- 三、生乳生産状況について
- 四、平成九年度良質生産安定供給推進奨励金の支払について
- 五、第三回でん粉工場再編整備検討会の経過について
- 六、金融事業の進捗状況について
- 七、共済事業の進捗状況について
- 八、購買事業の進捗状況について
- 九、店舗事業の進捗状況について
- 十、自治監査(十二月末)の日程について



第21回馬鈴しょ振興対策協議会定期総会

平成10年1月29日、中標津町農協馬鈴しょ振興対策協議会、第21回定期総会が農協大会議室で開催されました。

正城会長の挨拶の後、三友組合長の祝辞を頂き、議長に豊岡の武田勇氏を選出し、提出議案の審議に入り、新しい取組みとして会員の婦人同志の交流が少ない事から、交流を深める研修活動を設け推進していく事としました。また、鹿被害が増加している中で、駆除対策を推進し、鹿駆除の際には協力していく事を確認しました。

畑作の課題解決のため、畑作の各組織の代表が集い、新しい組織(仮称)中標津町農協畑作対策協議会設立への賛同と加入について、協議され加入する事を承認し、提出された全議案が承認され議事を終了しました。

最後に、正城会長が閉会挨拶の中で、畑作農家を取り巻く厳しい環境の中で会員相互の力を結集し、安定経営を目指し活動していく事を閉会の言葉とし終了しました。

フ
オ
ト
ア
ス
ル
ズ
ム



第21回中標津町農協 てん菜生産振興 協議会定期総会

平成10年1月28日、中標津町農協大会議室において、中標津町農協てん菜生産振興会第21回定期総会が開催されました。

松田会長の挨拶の後、三友組合長、横山ホフレン根釦原料所所長から祝辞を頂き、議長に俵橋の西崎敬造氏を選出し議事に入り、提出議案、全件が満場一致で承認されました。新年度、畑作各組織の代表が集い、新しい組織(仮称)中標津町農協畑作対策協議会設立への賛同と加入について、全員の承認を得、加入する事となりました。引続き、役員改選

に移り、各集団から選考委員を選出し、4人が選考され、満場一致で決定されました。

新役員 会長 松田征二(再任)
副会長 長瀬重樹(再任)
監事 名越 優(新任)
監事 真野幸一(新任)

今年度は、4年に1度開催される全国農業機械展の見学、出荷体制の整備、また、てん菜栽培講習会の活動を通し、より一層の生産向上を目指し、会員の結集を図っていく事を確認し閉会しました。



講師の門馬氏

ちょっと優雅な昼食会

J A根室地区女性協フレッシュミセス研修会

1月20日に、J A根室地区女性協フレッシュミセス研修会がウェディングプラザ寿宴で開催されました。

今回の研修内容は「洋食のテーブルマナー」という事で、各地区から集まった参加者29人は、少々緊張気味。

当女性部のフレッシュミセスからも4人が出席し、いつもと

は違った雰囲気の中、料理についてやテーブルマナーの基本を聞きながら、ゆつくりと昼食をとりました。また、他地区のフレッシュミセスとの交流も図られ、参加者の皆さんは、楽しい午後のひとときを過ごしたようです。



ちょっぴり緊張してるかな？

健康管理に気を配り元気で楽しい活動を

第13回 中標津町野菜生産組合定期総会

第13回中標津町野菜生産組合定期総会が、1月21日中標津町マルエー温泉にて開催されました。

開会にあたり、房川秀子組合長の挨拶のあと、各関係機関の祝辞を受け、続いて平成9年度活動報告、収支決算、10年度活動計画が

審議され原案通り承認されました。

野菜生産組合は10年を過ぎ、会員の健康管理からも活動が続けて行くのにむずかしい時期にきていますが、新会員を募集し、体の続くかぎり活動して行きたいと話されました。



今年も元気で頑張る事を確認しました

1月の
組合日誌

- 7日 仕事始め
- 12日 課税対策役員会
- 16日 地域農業振興計画部会長会議
- 17日 乳検組合員酪農講習会
- 19日 第3回でん粉工場再編整備計画検討会
- 20日 てん菜振興会役員会
第3回合併に関する検討委員会
- 21日 馬鈴しょ振興会役員会
第13回役員協議会
- 22日 第10回生産委員会
- 23日 第5回管理購買委員会
畑作対策協議会設立準備合同会議
乳検検定会議
- 25日 農協50年史編さん委員会
- 26日 乳牛改良同志会役員会
てん菜振興会三役会
- 28日 第8回営農委員会
てん菜振興会定期総会
- 29日 馬鈴しょ振興会定期総会
馬鈴しょ振興会耕作者全体会議
役員定数審議会
店舗建設委員会
- 30日 第13回理事会
地域農業振興計画生活部会会議

'98フォーラム

ねむろのヒューマン・ランドスケープ

これからの酪農景観を考える

根室管内のこれからの酪農景観を考えるフォーラムが1月21日、町総合文化会館で開催されました。

このフォーラムは根室支庁の主催で、標茶町農協の小泉恒男組合長の基調講演に続き、管内の酪農家や景観づくりのボランティア団体など8人でパネルディスカッションが行なわれ、中標津町からは酪農家を代表して横田純子さんがパネリストとして「酪農景観の形成には、やる気が必要で仕事が終わりたい片付ける習慣をつけるなど、住む人、働く人、訪れる人達がうるおいを感じられる、美しい景観づくりを目指すことが大切」などの意見が出されました。

開陽台自作ソリ大会

(多少の悪天候の場合は決行します。
悪天候の場合は2月22日の予定です)

とき **2/15日**

受付時間 ● 午前9:30～午前10:30
開催時間 ● 午前10:30～午後2:00

ところ **開陽台牧場内
特設コース**

賞金総額
70万円



高校生・一般の部

〈車検あり〉 ハンドル・ブレーキ有

参加料1名につき2,500円
当日受付500円増

表彰 ● タイムアタックの部
● デザイン・アイデアの部

小・中学生の部

参加料1名につき1,000円
当日受付500円増

表彰 ● デザイン・アイデアの部
参加料の中には保険代が含まれております。

**自作ソリ大会
参加募集**



問い合わせ連絡先 ● 開陽館(小木まで) ☎(01537) 4-2360